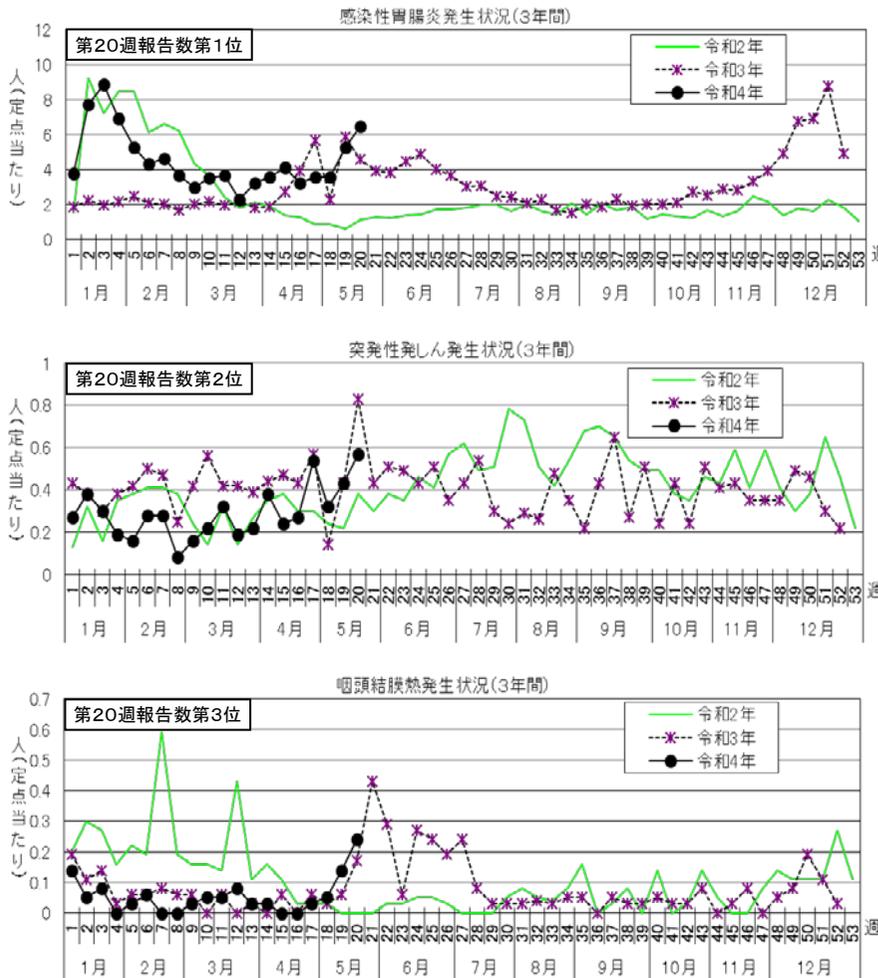


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

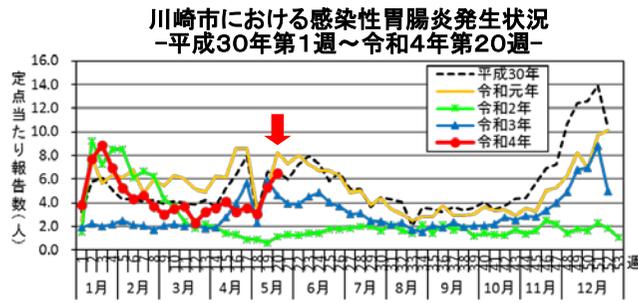
令和4年5月16日（月）～令和4年5月22日（日）〔令和4年第20週〕の感染症発生状況

第20週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) 咽頭結膜熱でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.46人と前週（5.30人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.57人と前週（0.43人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は0.24人と前週（0.14人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎～報告数が徐々に増加しています～

川崎市における感染性胃腸炎の令和4年第20週（5月16日～5月22日）の報告数は定点当たり6.46人と、2週前から徐々に増加しています。
 感染性胃腸炎は、細菌（カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）やウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど）等の感染性病原体により、下痢や嘔吐、腹痛等の消化器症状を呈する疾患です。原因となる病原体によって症状の程度が異なりますが、カンピロバクター等による食中毒では激しい下痢が出現します。
 下痢や嘔吐を繰り返すと、特に小児や高齢の方は脱水症状を起こすこともあります。症状が激しい場合はすぐに医療機関を受診するようにしましょう。



近年、カンピロバクターを原因とする食中毒が増えています。原因の大多数は、生又は加熱不十分な食肉（鶏刺し等）の喫食や、原材料の食肉からの二次汚染です。

感染性胃腸炎とは？

【病原体】 細菌・ウイルス等
【感染経路】 経口感染、接触感染
【主な症状】 下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛等
【予防対策】

- 手指衛生
- 食材の十分な加熱
- 嘔吐物等の適切な処理
- 調理器具等の洗浄・殺菌